

熊谷桜「花のお嫁入り」!!

今年の夏は「異常」に暑かったですね。日本だけでなく世界中が高温で、世界気象機関（WMO）は、世界の年平均気温は観測史上最高になるだろうと予測しています。これは 12 万年ぶりだそうです。さらに、熱波をもたらした一因であるエルニーニョ現象（南米の太平洋の海水温が高い状態）は 4 月頃まで続き、来年もまた「異常」に暑そうです。この気候変動は、人間のみならず動植物にも多大な影響を与えています。熊の出没で、秩父の子どもたちは熊鈴を持って登下校しています。寄居にも、何十年かぶりに熊が出没しました。植物では、ツツジなどの春の花が秋に咲く「狂い」咲きも見られます。10 月、上恩田の Y 邸では、桜の染井吉野（ソメイヨシノ）が開花して話題となりました。

桜といえば、吉岡里山周辺にも、彼岸桜や染井吉野、山桜などがありますが、意外に知られていないのが「熊谷桜」（クマガイザクラ）です。野球部のバックネットの裏に 3 m 程の低木があります。案内板も立っています。小ぶりの豆桜系の八重咲（やえざき）で、かなり古い品種といわれています。彼岸桜よりも開花時期が早く、一の谷合戦での熊谷直実の先陣争いの故事になぞられて、この名が付けられたといわれています。一時「幻の桜」となりましたが、熊谷「桜ファンクラブ」が復活させました。鎌倉町の石上寺（せきじょうじ）にたくさん植えられています。

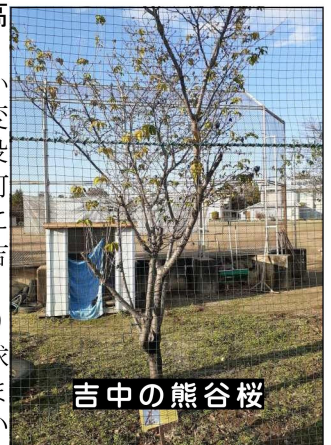
11 月 2 日付『埼玉新聞』によれば、「市民団体『気仙沼に熊谷桜を植える会』による『熊谷桜のお嫁入り』が宮城県気仙沼市で行われた。対面式はコロナ禍のため、4 年ぶりとなった。」とのこと。気仙沼市は、熊谷直実の孫の直宗が城を築き、今も「熊谷姓」の住民が多く暮らしています。神奈川県藤沢市の「村岡姓」や兵庫県丹波市の「久下姓」みたいなものです。東日本大震災以降、その復興を願い熊谷桜の寄贈を続け、9 回目の今回で総本数は 924 本となり、来年には千本桜となります。いい話です。3 月、吉中の熊谷桜を見て、東北を思い出しましょう。

里山の 11 月の活動は、11 月 12 日（日）に行われました。落ち葉掃きやヤマツツジ植栽（予定）の下準備として八幡神社北斜面の間伐と下草刈りを行いました。冬到来を思わせる肌寒い曇天の中、自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、個人ボランティアなど 20 数名程の参加者が、各々の持ち場で活躍してくださいました。お疲れ様でした。

裏面には、コスモス畑の写真や吉岡伝統文化祭りの記事などを載せてあります。



熊谷桜



吉中の熊谷桜



写真担当 Tくん



落ち葉掃き



チェーンソー大活躍



伐採木の細断

次回活動日 12月10日(日) 9:00~11:00(雨天中止)

随時参加者募集! 作業に適した服装で、吉中にお集まりください。